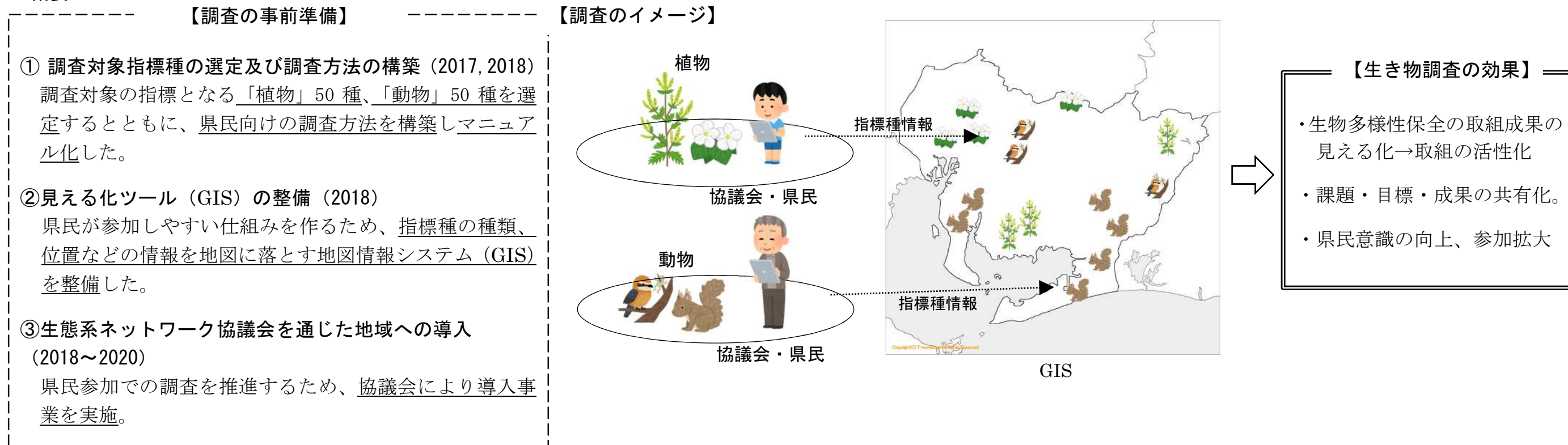


平成 31 年度 生態系ネットワーク形成推進事業（モニタリング調査事業（県民参加型の生き物調査））の取り組みについて

1 目的

- 当地の生物多様性の指標となる種（以下「指標種」という。）を定め、これを調査することで現状を把握できる。
- 指標種の生息生育状況をモニタリングすることで、「自然環境の変化」や「生物多様性保全の活動成果」を認識できるようにする。
- 県民参加型で実施することにより、自然環境に関する県民意識の向上を図り、生物多様性保全の活性化につなげる。

2 概要



3 スケジュール

2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度 【愛知目標の目標年（2020 年）】
<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象となる「植物」50 種の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象となる「動物」50 種の選定 ・調査方法（植物・動物）の構築及びマニュアル化 ・見える化ツール（GIS*）の整備 	<p style="text-align: center;">← 生き物調査の導入 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 協議会の活動地域内で調査（知多半島、西三河、尾張北部、尾張西部、東三河） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 協議会の活動地域内で調査（東部丘陵、新城設楽、渥美半島、西三河南部）

※ GIS は、インターネットクラウド上に構築している。